

市立伊勢総合病院

1 業務の概要

今年度も医療をめぐる環境は、全国的な勤務医不足と看護師不足の状況が緩和されず、地域医療は、さらなる危機的状況に瀕している。

当院においても、平成20年度は一次救急・二次救急の住み分けに伴う医療収益の減少や、勸奨退職者の増加に伴う退職給与金の増高により、さらに経営状況は厳しくなっている。

そのような中、二次救急を行う地域の中核病院として、市民の皆様信頼される病院を目指し、良質かつ高度の医療を提供できるよう、医療提供体制の確保と医療水準の向上に努力してきた。

本年度の病院利用状況については、延べ入院患者数84,718人（1日平均232人）、延べ外来患者数165,848人（1日平均683人）、健診者数10,992人（1日平均38人）となり、前年度と比較すると、入院患者数においては、8,404人の減少となり、外来患者数においても、17,067人の減少、健診者数においても、302人の減少となった。

収益的収支の状況については、収入として、一般会計負担金350,000千円を含み、事業収益5,821,122千円となり、支出においては、総支出額6,405,888千円となり、収支差引584,766千円の単年度純損失を生ずる結果となった。

資本的収支においては、収入として、一般会計からの負担金100,000千円、寄附金100,100千円と国・県補助金の2,160千円の計202,260千円に対し、支出では資産購入費43,705千円、企業債元金の償還に218,424千円となり、このうち資産購入費の主なものとして、透析用A・B剤溶解装置（5,000千円）、電子内視鏡システム（6,116千円）、心臓カテーテル検査装置（6,878千円）等の導入並びにその他更新整備を図ったところである。

資本的総支出額は、262,129千円となり、収支差引59,869千円の不足額を生じたが、一時借入金で措置したところである。

以上が主な概況であるが、当年度未処理欠損金が29億1千余万円（前年度末未処理欠損金23億3千余万円）を有しているため、経費の節減、合理化等経営改善に努め、健全経営に努力するとともに、安全で安心していただける医療を推進し、地域医療を確保していく所存である。

2 病院利用状況

診療科目	入院	外来
内科	24,567人	59,239人
循環器科	6,728	—
外科	13,391	11,229
整形外科	15,452	16,740
形成外科	1,224	8,544

皮膚科	904人	11,327人
泌尿器科	3,237	10,529
産婦人科	1,604	4,643
小児科	—	205
耳鼻いんこう科	653	4,535
眼科	—	197
精神科	—	2,493
脳神経外科	6,660	3,157
歯科口腔外科	1,033	13,297
放射線科	—	3,971
麻酔科	—	1,194
神経内科	9,265	14,548
計	84,718	165,848

3 物品購入に関する事項（金額100万円以上）

購入年月日	器械備品名	規格	金額
20. 4. 28	回診用X線撮影装置	島津 モバイルアートエコMUX-10 一式	円 2,289,000
20. 9. 10	腹腔・胸腔ビデオスコープ	オリンパス VISERA LTF-V3他 一式	2,318,400
20. 10. 6	オート無散瞳眼底カメラ	ニデック AFC-210他 一式	3,391,500
20. 10. 9	透析用A・B剤溶解装置	東亜DKK バッファータンク付 各一式	4,999,575
20. 11. 25	電子内視鏡システム	オリンパス EVIS LUCERA SPECTRUM 一式	6,116,250
20. 12. 18	心臓カテーテル検査装置	フクダ電子 MCS-9000システム 一式	6,877,500
21. 1. 15	デジタルホルダー記録器	フクダ電子 FM-180 1台、FM-160 3台他	2,814,000
21. 3. 11	シリンジポンプ	テルモ 麻酔用TCIポンプ TE-371 4台	1,092,000
21. 3. 17	超音波診断装置	持田シーメンスメディカル SONOVISTA-C3000 一式	3,360,000
21. 3. 31	人工呼吸器	NMI ニューポートベンチレータ モデルe360 一式	2,415,000